

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

児童デイサービス
こまどり

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・ゲームやボール遊びが出来るスペースで、ゆったりと活動出来る。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			・適切である。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・畳敷き部分と絨毯部分の境目、トイレには段差がある。
業務改善	4 業務改善を進めるための PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・朝礼、昼礼、終礼を行い、職員間の情報共有と振り返りの場としている。 ・「振り返りプロジェクト」に取り組み、職員間で意見交換を行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者の意見欄には何も書かれていなかったが、「どちらとも言えない」や無回答があったところは重く受け止め、再確認し改善に努める。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			昨年度同様、結果を配布予定である。ホームページにも公開していく予定。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・毎月の職員研修や時々に応じて勉強会を行っている。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・年2回のアセスメントを行っている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・使用している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・一日の流れを担当制で考え、その後内容の具体案は、アイデアを出し合い、全職員で決定、準備を行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・児童の様子を見ながら工夫している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・休日や長期では、平日に出来ない活動を取り入れたり、その内容を熟考している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・集団遊びを中心に、個別活動も組み合わせている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝礼、昼礼、終礼を行い、特に昼礼では、送迎の確認、活動内容と児童の予想される動きに対する職員の動きを確認している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・終礼では、連絡ノートによる引き継ぎ確認と支援の振り返りを行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか			○	・内容については、職員により視点がまちまちである。支援計画に沿って記録する様に改善が必要である。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・児童の成長が目覚ましいので、定期的なモニタリングと支援計画の見直しの必要性は感じ、判断している。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	・余暇活動や創作活動等、遊びを中心とした活動を行っているが地域交流が少ないと感じている。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・ケース会議には、児童発達支援管理責任者が出席している。 又相談員との連携を行い、情報は得ている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・「契約しているのは保護者なので、保護者から聞いてほしい」と言われている為、学校の予定等は保護者から頂いている。 送迎時には、学校での状況は聞く事は出来ている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・医療的ケアを必要とする児童はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・入所希望児童の見学受け入れ時には、情報を貰っている。入所後の様子等は、特に情報交換はない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・日中一時支援事業からの卒業生はある。 同法人事業所への入所の場合は情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・研修には参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・児童館で過ごす事もあるが回数は少ない。 ・近隣公園で遊んでいる時に一緒に遊ぶ事もある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・自立支援協議会の構成メンバーには含まれていない為参加はしていないが、児童通所事業所連絡会が別にあり、出席し、他事業所と情報交換をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時や面談で話している。 ・支援計画の説明を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○		・保護者からの相談に対しては、家族支援として個別に対応しているが、保護者への積極的なトレーニングの実施には至っていない。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・たくさんお話できている保護者と出来ない保護者の差があるのが現状である。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・父母の会はないが、主催の研修には参加を考慮している。 保護者間の交流は、年1回の茶話会行事を行っている。他に講演会等企画していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・保護者からの問い合わせや要望には、迅速、丁寧に応えられる様に心がけている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・新聞は3回/年、ミニ通信として1回/月発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・十分注意をしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・わかり易く、丁寧な対応を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・ボランティアの受け入れは、積極的に行っている。(橋本高校からの要請のあった学生ボランティア等)

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・職員には周知しているが、保護者に周知出来ていない。 防災については、支援計画に記載している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・月1回の防災訓練及び消防署を年1回訪問し、災害体験や消火器体験をさせて頂いている。 ・防犯訓練は月1回、職員のみで行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・MINKメモの奨励、及び研修は適宜受けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、身体拘束を実用とする利用児はいないが、必要時にはマニュアルに沿って取り組む。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・医師の指示書対応の児童は居ないが、保護者との連携を密にし、指示は頂いている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハットは事業所会議で必ず共有している。